



2024年9月9日

各位

会社名 株式会社 アピリッツ
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 和田 順児
(コード番号: 4174 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 永山 亨
(TEL 03-6690-9870)

2025年1月期第2四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年3月15日に「2024年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2025年1月期第2四半期(中間期)及び通期の連結・個別の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2025年1月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2024年2月1日~2024年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2024年3月15日)	百万円 4,161	百万円 240	百万円 237	百万円 143	円銭 34.92
今回修正予想(B)	4,221	13	10	△16	△3.92
増減額(B-A)	60	△226	△226	△159	-
増減率(%)	1.4	△94.5	△95.5	-	-
(ご参考)前期実績 (2024年1月期第2四半期 (中間期))	4,137	258	257	151	36.96

(2) 2025年1月期通期 連結業績予想数値の修正(2024年2月1日~2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年3月15日)	百万円 9,000	百万円 678	百万円 672	百万円 430	円銭 104.99
今回修正予想(B)	9,000	301	295	159	38.63
増減額(B-A)	0	△376	△376	△270	-
増減率(%)	0.0	△55.5	△56.0	△62.9	-
(ご参考)前期実績 (2024年1月期通期)	8,427	599	596	386	94.32

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2025年1月期 第2四半期(中間期) 個別業績予想数値の修正(2024年2月1日~2024年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2024年3月15日)	百万円 3,412	百万円 237	百万円 242	百万円 158	円銭 38.82
今回修正予想(B)	3,360	0	6	4	1.09
増減額(B-A)	△51	△236	△236	△154	-
増減率(%)	△1.5	△99.7	△97.2	△97.2	-
(ご参考)前期実績 (2024年1月期第2四半期 (中間期))	3,375	271	277	180	44.01

(2) 2025年1月期 通期 個別業績予想数値の修正(2024年2月1日~2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年3月15日)	百万円 7,388	百万円 616	百万円 627	百万円 425	円銭 103.96
今回修正予想(B)	7,388	281	292	195	47.27
増減額(B-A)	0	△334	△334	△230	-
増減率(%)	0.0	△54.3	△53.3	△54.2	-
(ご参考)前期実績 (2024年1月期通期)	6,870	573	585	400	97.84

3. 業績予想の修正理由

【個別業績予想】

第2四半期(中間期)の個別業績予想につきましては、期初の業績予想と比較し、オンラインゲーム事業及びデジタル人材育成派遣事業に関しましては、概ね計画どおりに推移いたしました。しかしながら、Webソリューション事業において、大型案件における納期遅延が発生し、第2四半期(中間期)をかけて収束に注力いたしました。その影響で該当案件の不採算化及び当該案件収束のための人員投下等でリソース不足が発生し、新規案件獲得においても影響が出ております。その結果、売上は期初業績予想を達成するも営業利益以下において、大きく減益になる見込みとなり、上期業績予想の修正を行うこととなりました。

今回の不採算プロジェクトを鑑み、開発プロジェクトのミドルマネジメントへの対応体制を整え、的確にプロジェクトの問題点をエスカレーションできる体制を整えてまいります。また、プロジェクト監視強化を行い、不採算プロジェクトの撲滅に努めるとともに、収益基盤の改善に努めてまいります。

なお、2025年1月期通期の業績予想につきましては、オンラインゲーム事業及びデジタル人材育成派遣事業ともに計画どおり推移する見込みです。また、Webソリューション事業においても、市場環境は活況ではありますが、不採算案件からの体制立て直しを勘案すること、期初業績予想に織り込んでいない実施済のM&A費用等の確定している費用を織り込み、通期業績予想においても修正する事となりました。

【連結業績予想】

第2四半期（中間期）の連結業績予想につきましては、子会社である株式会社ムービングクルー及び株式会社 Y's に関しましては、概ね計画どおりに推移しました。

通期の連結業績予想につきましては、個別業績予想の修正理由の影響を織り込み、同様に通期業績予想においても修正する事となりました。

※本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる場合があります。今後、事業環境を注視し、業績予想に修正が必要と判断した際には、速やかに公表いたします。

以上